

令和2年度事業報告

I. 公益を目的とする事業

【公益事業番号1】：科学技術に関する研究活動の助成事業

1. 下中科学研究助成金

令和2年度・第59回下中科学研究助成金審査委員として、青木清、中尾征三、長尾篤志、蟻川謙太郎(新任)、園池公毅(新任)の4氏に委嘱し、審査委員長に青木清氏を委嘱しました。

令和2年度の募集を5月中旬にホームページで告知し、周知方を都道府県および政令指定都市・主要都市教育委員会、教育センター、全国新聞社・放送局、研究団体等に依頼し、申請の募集を行いました。

12月10日に締め切り、応募総数はコロナ禍にも拘わらず73件(前年86件)に上りました。内訳は自然科学関係52件、人文科学関係21件でありました。

浅香修治予備審査委員他12氏に採点を依頼し、令和3年1月22日、アルカディア市ヶ谷にて予備審査会を開催し、助成金交付候補者30名を選定しました。同年2月2日、アルカディア市ヶ谷にて本審査会を開催。浅香予備審査委員より予備審査の経過が報告され、厳正な審議の後、青木清審査委員長から予備審査で選定された候補者30名を助成金授与者としてほしい旨の提案があり、出席委員全員異議なくこれを承認可決しました。

なお、助成金の取得は叶いませんでしたが、優秀な研究と認められました12名の研究課題を次点とし、図書券(10,000円分)を贈り、研究助成の一助としました。

また、「2021年報」に研究発表執筆候補者として、取得者の中から正候補者5名、補欠候補者2名を推薦しました。

同年2月22日に入選者の発表を行い、同年3月11日に各入選者に対して助成金の送金及び次点者への図書券の発送を行いました。

募集にあたり周知方を依頼しました各所に対し、今回よりメールにて審査結果をお知らせし、各々において発表周知方をお願いしました。

募集周知に関しましては下記の各社・団体からご協力をいただきました。

【募集関係】

- ①NPOシーズ＝市民活動を支える制度を作る会 ホームページに掲載
- ②内外教育 令和2年5月号
- ③産学通信社 「工業教育」令和2年5月号
- ④全私学新聞 令和2年6月13日号

【結果発表】

①熊本日日新聞 3月1日号に熊本県玉名郡南関町立南関第三小学校・近藤祐樹先生取得紹介記事

令和2年6月2日に審査委員長・金子明石先生が逝去(享年86歳)されました。平成元年に審査委員に、平成24年に第4代審査委員長就任。長年にわたり、下中科学研究助成金の運営に多大なるご貢献賜りました。改めて御礼申し上げ、併せて謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

なお、金子明石審査委員逝去による審査委員1名欠員を補充するため、令和2年12月2日の臨時理事会において、園池公毅早稲田大学教育・総合科学学術院教授を選任しました。

2. 百科事典情報基盤形成助成金

助成金を得たプロジェクト(一般社団法人百科総合リサーチセンター他)について審査委員会および理事会で進捗状況の報告を受けました。

3. 『下中記念財団2020年度年報』(Annual Report 2020 of THE SHIMONAKA MEMORIAL FOUNDATION)の刊行

令和2年度の『下中記念財団年報』は、同年11月上旬に刊行、各方面へ寄贈しました。

『年報』には、令和元年度事業報告、令和2年度事業計画及び令和元年度第58回下中科学研究助成金取得者の5名の研究発表を掲載しました。

『年報』の寄贈先は、内閣府、文部科学省関係者、全国教育委員会、教育センター、政令指定都市及び主要都市教育委員会、全国主要マスコミ各社、国立国会図書館、前年度下中科学研究助成金取得者等であります。

【公益事業番号2】: 教育映像資料の収集、貸出、閲覧および展示

1. ECアーカイブズ

(1) 国立映画アーカイブへの寄贈映像の搬入は、コロナウイルス禍で、一時、滞りましたが、岡田一男評議員の多大なご尽力もあって、8月に無事完了しました。

(2) 上映会

①<エンサイクロペディア・シネマトグラフィカを見る>連続上映会は、コロナウイルス禍で、第17回として「漁をする人」(令和3年9月26日・於:ポレポレ坐+配信)の1回のみで開催となりました。

②他に下記のイベント・上映会に協力し、映像を提供しました。

・「世界を旅する映像のフィールドワーク展」(愛知県小牧市 令和2年9月)

・博報堂企画「サイエンスアゴラ」(リモート 令和2年11月)

- ・高円寺ギャラリーでの上映会（令和2年12月）
- ・生活工房「バックヤード展（令和3年1月）
- ・「鬼と目に見えないものを思う」上映会（京都市福知山市 令和3年3月）

(3) 本年度のECの利用は6件（前年15件）でありました。

2. パール・下中記念館

- (1) 一昨年の台風及び昨年の集中豪雨の被害により、既に老朽化が進んでいた当館内の建物に大量の水漏れ、外壁崩落の危険等、多大な被害が出たため、急遽、保守・保全工事を行いました。1974年の建設から初めての大規模工事でした。
- (2) 今期の見学者（直接申込者）は修理工事中のため、3組10名（前年10組84名）に止まりました。
- (3) 「パール博士のことば」の今期の有料頒布は、400部（前年72部）でありました。

3. 世界平和アピール七人委員会・丹波篠山市との協同事業

『平和』に関する講演会は、丹波篠山市からコロナ禍を理由とする開催延期の申し出があり、今期の実施はありませんでした。

【公益事業番号3】：科学技術の優秀な研究成果に対する表彰

1. 表彰事業

5年毎の事業で、今期の実施はありませんが、応募有資格者に「年報」・「周年記念誌」等を寄贈し、次回応募への動機を促しました。

【公益事業番号4】：国際相互理解の促進を目的とする助成事業

1. 上野眞資記念事業「日本を知ろう」

コロナ禍で、インド人留学生の来日及び国内活動が困難な状況であったため、本年の実施を見送りました。

II. 収益を目的とする事業

【収益事業番号1】：伝統芸術の貴重な映像及び資料の頒布

重要文化財『雅楽シリーズ』<DVD-RX>版全8巻の今期の売上は8セット・694,500円（前年5セット・348,000円）、バラ巻4枚・42,000円（前年8枚・66,000円）、合計736,500円（前年414,000円）でありました。

III. その他

(1) 今期の寄附金は下記の通りでありました。

①「事業全般」	46名	241,000円
②「公益事業1：下中科学研究助成金他	3名	23,000円
③「公益事業2：教育映像・博物館事業」	8名	28,000円

④「公益事業4：日本を知ろう他」	52名	172,000円
合 計	109名	464,000円
(前年合計	12名	47,310円)

これは、税額控除対象となる前提（年間@3,000・100名以上、合計300,000円以上）を上回りました。寄附者の皆様に御礼申し上げます。

- (2) 今期、平成2年6月の定時理事会・定時評議員会：臨時理事会及び12月の臨時理事会は、新型コロナウイルス感染防止のため、「書面によるみなし決議」として開催し、令和3年の定時理事会は同じ理由でZOOM形式で開催しました。

Ⅱ. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

(令和3年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	就任(重任) 年月日	担当 職務	報酬	現職
理事長	非常勤	藤井 卓也	令和2年6月9日		なし	CPグループ・正大光明集団 会長顧問
専務理事	非常勤	下中 弘	令和2年6月9日		なし	(株)エクスプランテ取締役社長 (株)平凡社相談役
理事	非常勤	小沼 通二	令和2年6月9日		なし	慶應義塾大学名誉教授
理事	非常勤	上野 健爾	令和2年6月9日		なし	四日市大学関孝和数学研究所 所長
理事	非常勤	田中 光則	令和2年6月9日		なし	前社団法人日本書籍出版協会 事務局長・出版編集者
理事	非常勤	下中 美都	令和2年6月9日		なし	(株)平凡社代表取締役社長
理事	非常勤	堤 富男	令和2年6月9日		なし	一般財団法人機械システム振 興協会会長
理事	非常勤	堀越 俊一	令和2年6月9日		なし	(株)講談社サイエンティフィ ク代表取締役社長
理事	非常勤	佐野 玉緒	令和2年6月9日		なし	花士(はなのふ)
理事	非常勤	久保利英明	令和2年6月9日		なし	日比谷パーク法律事務所代表 弁護士
監事	非常勤	小坂 義人	平成30年6月26日		なし	飛悠税理士法人代表社員
監事	非常勤	兼元 俊徳	令和2年6月9日		なし	弁護士
評議員	非常勤	下中 直人	令和2年6月9日		なし	(株)東京印書館取締役社長
評議員	非常勤	岡田 一男	令和2年6月9日		なし	(株)東京シネマ新社代表取締役
評議員	非常勤	中村 桂子	令和2年6月9日		なし	JT生命誌研究館名誉館長
評議員	非常勤	荻原 眞子	令和2年6月9日		なし	千葉大学名誉教授
評議員	非常勤	坂部 三司	令和2年6月9日		なし	ダイニック(株)顧問
評議員	非常勤	山田 和	令和2年6月9日		なし	作家
評議員	非常勤	田付茉莉子	令和2年6月9日		なし	一般社団法人日本経営史研究 所会長
評議員	非常勤	大橋 祥宏	令和2年6月9日		なし	一般財団法人日本出版クラブ元 専務理事・出版編集者
評議員	非常勤	山崎 典子	令和2年6月9日		なし	宇宙航空研究開発機構宇宙科学 研究所教授
評議員	非常勤	大河原昭夫	令和2年6月9日		なし	公益財団法人日本国際交流セン ター理事長

2. 職員に関する事項

職名	常勤 非常勤	氏名	採用年月日	担当 職務	給料	備考
事務局長	常勤	廣川 知志	平成11年9月20日		235,000円	
局員	非常勤	荻山 裕子	平成30年7月1日		150,000円	

3. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年5月29日 (定時理事会)	1. 令和元年度事業報告及び決算承認について 2. 定款変更について 3. 理事・監事及び評議員の全員と監事1名の任期満了につき候補者推薦について 4. 書面による評議員会みなし決議に関する提案について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
令和2年6月19日 (臨時理事会)	1. 理事長及び専務理事選定について	全会一致で承認・可決
令和2年12月2日 (臨時理事会)	1. 下中科学研究助成金審査委員1名選任について	全会一致で承認・可決
令和3年3月23日 (定時理事会)	1. 令和3年度事業計画及び収支予算審議について 2. 主たる事務所移転について	賛成多数で承認・可決 賛成多数で承認・可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年6月9日	1. 令和元年度事業報告及び決算承認について 2. 「定款」の変更について 3. 理事・監事及び評議員任期満了につき選任について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認

(3) 下中科学研究助成金審査委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年1月22日 (予備審査会)	1. 本審査委員会へ推薦する助成金取得者・次点者・「年報」執筆者の各候補者の選定について	全会一致で承認・可決
令和3年2月2日 (本審査会)	1. 助成金取得者・次点者・「年報」執筆者の選定について	全会一致で承認・可決

4. 主務官庁（内閣府）との連絡事項

連絡年月日	連絡事項	履行状況
令和2年4月1日	事業報告等の提出の案内（メール）	令和2年6月30日提出
令和3年2月1日	業計画書等の提出の案内（メール）	令和3年3月29日提出
他に毎月「公益認定委員会等だより」及び随時各種通知及びゼミナール案内等の配信を受けている		

令和2年度・第59回下中科学研究助成金入選者一覧

氏名	所属機関	研究課題
鎌田 尚吾	北海道教育大学附属函館小学校	: 客観的事実に基づくオンライン・リフレクション
神野藤 均	北海道教育大学附属函館小学校	: 教師視点の授業映像による内省過程を組み込んだ授業設計における教材理解の変容 -算数科「データ活用」における教師の教材理解-
鈴木 克治	北海道立教育研究所附属理科教育センター	: 電気回路の実験をとおした、資質・能力を確実に育む教材及び授業プランの研究・開発
佐藤 拓也	宮城県総合教育センター	: 児童の問題解決の力を育成する小学校教員の理科指導力向上を目指して -科学巡回指導訪問の改善と理科の校内研修パッケージの充実・活用を通して-
相田 裕介	茨城県坂東市立南中学校	: 中学校敷地内の樹木調査と身近な環境保全の意識を高める環境教育の実践
高松森一郎	ぐんま国際アカデミー中高等部	: 計量テキスト分析による社会課題解決型PBLにおける生徒の変容過程の構造的な理解 -中学生の社会に対する自己効力感と社会参画への意識・態度に焦点を当てて-
細 喜朗	早稲田大学本庄高等学院	: 英語ライティング活動における、QFT型ピアフィードバック指導の研究とその効果
布施 達治	千葉県立市川南高等学校	: 地域固有生物ニホンミツバチの教材化による生徒の自然環境認識の変容に関する研究
鈴木 健一	板橋区立高島第三小学校	: 獲得した知識の活用と言語活動の充実が運動能力・技能に与える効果の検証
藤原 博伸	女子聖学院高等学校	: 発雷と雨水に着目した都市型局地的豪雨をたもたらず積乱雲の探求
岸 亮	新潟県南魚沼市立北辰小学校	: 小学校理科教育における科学的説明力育成に関する研究
腰原 裕一	長野県下伊那農業高等学校	: UECSを利用した環境制御温室教材の製作と、スマート農業分野への授業展開の研究
手塚 恒人	長野県飯田OIDE長姫高等学校	: 中部地方領家帯伊那山脈、桶谷苦鉄質岩体と白沢苦鉄質岩体の地史
川瀬 陽子	岐阜県養老町立笠郷小学校	: デジタルアーカイブ化による学習情報センターとしての学校図書館の在り方
吉田 正二	静岡県立浜松工業高等学校	: 安倍川の流路変遷に伴う駿府城下町都市構造の変容に関する都市史的研究

氏名	所属機関	研究課題
伊藤 清人	三重県立四日市工業高等学校	: Society5.0 に向けたコロナ感染対策の効果の見える化および対策の自動化
藤田 純太	京都府立東舞鶴高等学校	: 高校生による海洋分子生態学実験: 京都舞鶴湾における両側回遊性エビ類の幼生分散解析
森 展之	大阪府大谷中学校・高等学校	: 流体中の圧力及び浮力の発生メカニズムの分子論的研究
赤川 峰大	神戸大学附属小学校	: 仮言的三段論法を用いて説明を論理的に構成する力に関する研究
藤原 正人	兵庫県立小野高等学校	: 分子系統解析によるスミレ属の分類の再検討
早川 純平	奈良県立西和清陵高等学校	: 墨作りの原理を活用した炭素微粒子分散スライムの開発
田中 福人	岡山県ノートルダム清心学園清心女子高等学校	: 植物の吸水の日周変動を生み出す吸水機構の日周性
古本 宏	山口県野田学園高等学校	: 生徒が物理現象をイメージでき、実験準備の容易な実験方法と周辺装置の開発 -最近低価格・高性能化の進んだハンドヘルドオシロスコープを活用する-
廣瀬 優	松山聖陵高等学校	: アルギン酸ボールを用いたバイオエタノールの生成
横山 有太	高知工業高等専門学校	: 視線追跡装置を用いた内容理解度判断手法の開発
永野 猛人	福岡県春日市立春日東中学校	: 環境を保全する実践力をもった子どもの育成 -希少種ニホンミツバチ養蜂の教材化を通して-
近藤 祐樹	熊本県南関町立南関第三小学校	: 複数校兼務型の理科専科指導について -将来的な展望と予想される問題点への対応-
松田 健一	宮崎市立櫛中学校	: 中学生に生物を継続観察させ動植物のつながりを理解させるための理科教材の開発
多久島 徹	鹿児島県教育委員会	: 郷土鹿児島豊かな自然を活かした教材開発 -大地の活動を実感させる地学分野の教材化を目指して-
林 尚美	沖縄県立総合教育センター	: 絶滅の危機にあるミナメダカの教材化と教員研修などを通じた普及・啓発 -未来の沖縄の生物多様性を保全する役割を担う教師と児童生徒のために-

令和2年度・第59回 下中科学研究助成金応募者集計表

都道府県別	応募件数	取得候補	次点候補	部 門 別	応募件数	取得候補	次点候補
北海道	9	3	4	自 然 科 学			
宮城県	3	1	0	算数・数学	3	2	0
茨城県	1	1	0	理科教育	21	8	4
群馬県	1	1	0	物理	2	2	0
埼玉県	2	1	1	化学	2	1	0
千葉県	2	1	0	植物	4	3	1
東京都	7	2	1	動物	3	1	0
神奈川県	2	0	0	地学・天文	2	2	1
新潟県	1	1	0	農業・農学	1	1	0
長野県	4	2	1	工業・工学	4	2	1
岐阜県	2	1	0	水産	2	0	0
静岡県	3	1	0	技術・家庭	1	0	1
三重県	1	1	0	小 計	45	22	8
京都府	2	1	0	人 文 科 学			
大阪府	6	1	1	国語	1	0	0
兵庫県	8	2	1	外国語	4	1	0
奈良県	1	1	0	保健体育	3	1	1
岡山県	2	1	1	道徳	2	0	1
山口県	2	1	1	特別支援教育	1	0	0
愛媛県	2	1	0	生活・総合学習	1	1	0
高知県	1	1	0	小 計	12	3	2
福岡県	2	1	0	そ の 他			
佐賀県	1	0	0	教育一般	6	3	0
熊本県	2	1	0	環境教育	4	2	1
宮崎県	2	1	0	情報教育	3	0	0
鹿児島県	1	1	0	国際理解教育	1	0	0
沖縄県	2	1	1	キャリア教育・進路指導	2	0	1
中国	1	0	0	小 計	16	5	2
総 計	73	30	12	総 計	73	30	12

年 齢 別

20代	2	1	0
30代	26	9	6
40代	19	9	3
50代	17	6	2
60代	7	4	1
70代	2	1	0
総 計	73	30	12

最年少 28才
 最年長 74才
 平均年齢 45才

機 関 別

小学校	17	自然科学	9	4	1
		人文科学	3	1	0
		その他	5	2	0
中学校	10	自然科学	14	4	3
		人文科学	3	1	1
		その他	2	0	0
高等学校	24	自然科学	17	11	2
		人文科学	3	1	0
		その他	4	1	2
その他	13	自然科学	5	3	3
		人文科学	3	0	0
		その他	5	2	0
総 計			73	30	12

公益財団法人下中記念財団役員名簿

(2021. 3. 31)

理事長	藤井 卓也	CPグループ・正大光明集团董事长顧問
専務理事	下中 弘	株式会社エクスプランテ取締役社長
理事	小沼 通二	慶應義塾大学名誉教授
同	上野 健爾	四日市大学関孝和数学研究所所長
同	田中 光則	社団法人日本書籍出版協会元事務局長
同	下中 美都	株式会社平凡社代表取締役社長
同	堤 富男	一般財団法人機械システム振興協会会長
同	堀越 俊一	株式会社講談社サイエンティフィック代表取締役社長
同	佐野 玉緒	花土 (はなのふ)
同	久保利英明	日比谷パーク法律事務所代表弁護士
		以上10名
監事	小坂 義人	飛悠税理士法人代表社員
同	兼元 俊徳	弁護士
		以上2名
評議員	下中 直人	株式会社東京印書館代表取締役社長
同	岡田 一男	株式会社東京シネマ新社代表取締役
同	中村 桂子	J T生命誌研究館名誉館長
同	荻原 眞子	千葉大学名誉教授
同	坂部 三司	ダイニック株式会社顧問
同	山田 和	作家
同	田付茉莉子	一般社団法人日本経営史研究所会長
同	大橋 祥宏	財団法人日本出版クラブ元専務理事
同	山崎 典子	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授
同	大河原昭夫	公益財団法人日本国際交流センター理事長
		以上10名

公益財団法人下中記念財団助成金審査委員名簿

(2021. 3. 31)

I. 下中科学研究助成金・表彰事業審査委員会

委員長	青木 清	上智大学名誉教授・人間総合科学大学名誉教授
委員	中尾 征三	元文部科学省初等中等教育局主任教科書調査官
委員	長尾 篤志	文部科学省初等中等教育局主任視学官
委員	蟻川謙太郎	総合研究大学院大学教授
委員	園池 公毅	早稲田大学教授

以上5名

II. 百科事典情報基盤形成助成金審査委員会

委員長	相賀 昌宏	一般社団法人日本書籍出版協会理事長
委員	吉田 修平	弁護士
委員	繁田 勝男	公認会計士・税理士
委員	小柳 義夫	東京大学名誉教授

以上4名

III. 上野眞資記念事業「日本を知ろう」審査委員会

委員長	沖津 武晴	元税務大学校長
委員	中村 雅子	東京都市大学メディア情報学部教授
委員	横山 千晶	慶應義塾大学法学部教授

以上3名